

仮名のリズムを基調に、流れよく、躍動した線に青墨の優しい潤いが小倉百人一首の诗情と相まって、現代性豊かな生命感を感じる。この感性を磨き、新しい秋永ワールドに期待する。

条幅 随意

成家 秋永 春霞

史晨碑の端正、謹厳な安定感、無理のない隷書体の中庸をいく自然な八分体をよく表現し、明るさの中にも線は深く強い。日々の書に対する理解と研鑽は、皆の指針となるであろう。

条幅 随意(臨書)

師範正 宮本 虹鶴

筆圧強く、ダイナミックな運筆で重厚感のある作品。一点一画の線に主張を感じるが、字粒が少し大き過ぎたのが残念。今後は、疎密や余白なども加味すると一段と良くなるでしょう。

条幅 規定

師範 藤永 瑠雲



半紙規定

師範 福沢由美子

木簡・隸書・鄭道昭張りの線質を上手く調和させた作品。抑揚や筆脈の貫通もあり、線に迷いもなく、自信に満ちた快作。一歩前進。



半紙随意

準三段 馬場 紅季

作品づくりのいろはを熟知した書きぶりに、技量の高さを感じる。このセンスを大切に、古典を学び、質の高い書を目指してほしい。



半紙随意(臨書)

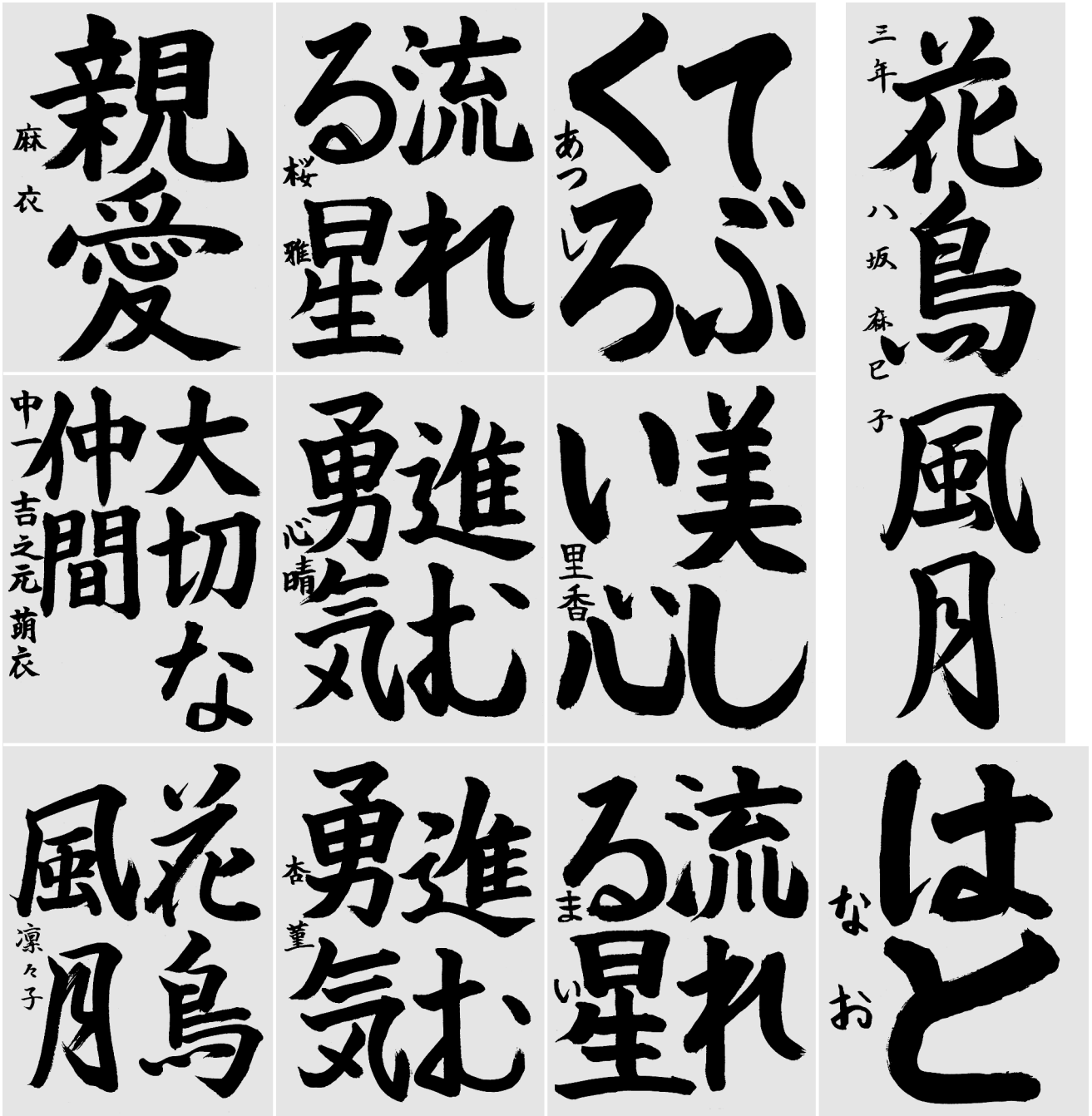
準師範 竹清 成翠

この古典の用筆を理解し、無理のない正統な臨書作品に好感がもてる。質の高い書を目指すには、今が一番大切。更なる精進に期待。

半折½縦

師範 檜橋 篤子

手本に捉われることなく、越くま、に筆を運びながらも作品作りの拘り<sup>こだわり</sup>も見え、感性の豊かさを感じます。この拘りを用具にも向け精進すれば、また新しい世界が広がるでしょう。



学生部条幅 (1/4)

中三 特待生 八坂麻巳子  
 “中学三年生”！勉強や部活との両立も立派に成し遂げ、今ままで続けてきた意志の強さは素晴らしい。作品にも表れていて、完成度の高さは見事です。

徳永あつし 小三 準四段 蕨野 里香

小二 準3級 一じーじお手本をよく見て、ていねいなふでづかいで名前まできれいに書いています。このちようしでがんばってください。

米澤 桜雅 小四 準四段 矢野 心晴

漢字と平仮名のバランスの良い明るい作品です。名前までしっかりと練習ができています。さらに「上」を目指しがんばってください。

江藤 麻衣 小六 六段 吉之元萌衣

難しい課題でしたが、伸びやかな線に魅力を感じる明るい作品です。今後は名前の練習にも力を入れ、頑張ってください。期待大。

七田 夏音 小一 準8級

お手本をよく見て元氣よく、そしてかたちもきれいに書いています。なまえもとてもいいですね。これからがんばってください。

尾田 舞 小四 五段 谷口 杏董

半紙いっぱいには舞さんの元氣があふれた伸びやかな作品です。日頃の熱心な練習の成果ですね。今後がとても楽しみです。

小五 準五段

基本の筆づかいがしっかりとできています。線に迷いがなく、全体のバランスも見事。今後の作品もさらに期待しています。

小嶋凛々子 中二・三 特待生

大人顔負けの見事な筆捌きで、リズム良く、線にとっても魅力のある作品です。さすが「特待生」。一般部への挑戦に期待しています。

# 硬筆部最優秀作品

(2月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

たぬきは、まいば  
んやうて、きて、  
糸車をまわすまね  
をくりかえした  
小ばやしかずき

白馬は、走りつづ  
けて、大すきな  
スーホのところへ  
帰ってきたのです。  
村さきみなみ

二字以上の漢字の組み合  
わせてできた言葉を、しゅ  
く語といい、訓で読むと意  
味の分かるものがある。  
山上あい

十九世紀の探検家が戦いの宣言  
と誤解して、ゴリラは好戦的で凶  
暴な動物だ、という物語を作り出  
したことによって、ゴリラは悲惨な  
運命をたどることになった。  
高橋 来夢

たぬきは、まいば  
んやうて、きて、  
糸車をまわすまね  
をくりかえした  
むりうちやえ

生きていくうえで、のち  
えや教える短い言葉や  
言い回しで表したものを、  
このことわざという。  
秦大知

新しい情報を聞けば聞くほ  
ど想像力のスイッチが入れ  
は入るほどだんだんと多く  
のことが見えてきて、少しづ  
つ事実の形が分かっていく。  
梅田 侑奈

先日、買い物へ出ると、三月の桃の節句、  
チコちゃんに似ている、四月の入学準備の特設会場  
まで作られていた。月日の過ぎる早さ  
を感じます。  
暦は立春、梅や桜も咲きはじめ、  
厳しさを残す残冬です。身体を温め  
たり、黒豆茶を飲んだり、香ばしく  
美味いお菓子、サッパリお粥分けです。  
コーヒーを少し控えて、飲んでみませんか。  
詳細

白馬は、走りつづ  
けて、大すきな  
スーホのところへ  
帰ってきたのです。  
辻本千夏

二字以上の漢字の組み合  
わせてできた言葉を、しゅ  
く語といい、訓で読むと意  
味の分かるものがある。  
城戸浩菜

海中に棒になって差しこんだ光  
が、波の動きにつれ、かがやきなが  
ら交差する。耳には何も聞こえな  
かったが、太一はそう大な音楽を  
聞いているような気分になった。  
市山 明

のどかに聞かせる日本の春一番の心  
体は、涼しい風だ。海は大シテ、山で  
は気温が上がり、雲が重なり、古  
は恐れをめた漢師言葉だ。戦  
後に俳句の季語となつた。  
瀬戸 紫園

小林かずき  
小一 6級  
マスいっぱい  
げんきよくかけ  
ています。むず  
かしいかんじも  
しつかりとれん  
しゅうのできた  
りっぱなさくひ  
んです。

森内 やえ  
小一 準8級  
一じーおてほ  
んをよくみて、  
かたちよく、とて  
もていねいにか  
けています。こ  
のちようしでこ  
れからもがんば  
ってくださいね

辻本 千夏  
小二 2級  
マスいっぱい  
力強い線であ  
うと書けた作  
品です。名前も  
漢字でしつかり  
と練習ができて  
います。今後、  
期待しています。

村崎みなみ  
小二 準2級  
のびやかな線  
で、元氣よく  
書いています。  
このちようし  
一まいでも多く  
練習し、段を  
目ざしてがんば  
ってください。

秦 大知  
小三 準初段  
ペンを使い、一  
字一文字のこ  
もった強い線  
で書いています。  
今後が楽しみです。  
期待しています。

城戸 浩菜  
小四 準四段  
お手本をよく  
見て、一字一  
字、とても丁寧  
に書いています。  
日頃の熱心な  
練習の成果が  
作品に表れて  
いると思います。

山上 あい  
小四 準初段  
全体のバランス  
のよい明るい  
作品です。もう  
一度基本(鉛筆  
持ち方・姿勢)  
を確認し、さら  
に上の段を目指  
してください。

梅田 侑奈  
小五 五段  
さすがに上位  
者の作品です。  
漢字と平仮名  
のバランスが  
線にもとても  
勢いがあります。  
今後、さらに  
期待しています。

市山 明  
小六 四段  
ペンを上手に  
使って、書き  
始めから名前  
まで集力を切  
らさず、とても  
丁寧な作品です。  
中学生になっ  
ても頑張つて  
ください。

高橋 来夢  
中学 特待生  
完成度の高い  
人顔負けの素  
らしい作品です。  
さすがに特待  
生ですね。ペン  
の使い方も見  
事。一般部への  
挑戦に期待し  
ます。

豊嶋 祥波  
一般 師範  
作品全体の纏  
まりが良く、流  
れの中にも格  
調の高さを感  
じる白眉の作  
品です。書は  
人なり。師範  
正への挑戦を  
お薦めします。

瀬戸 紫園  
一般 師範  
文字の大小の  
変化や流れが  
自然な明るい  
作品です。継  
続は力なり、  
さらなる高  
みを目指し頑  
張ってください。